

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 24年 5月21日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4690300068
法人名	株式会社 セカンドライフ
事業所名	グループホーム西南2
所在地	鹿児島県鹿屋市池園町2297-7 (電話) 0994-34-1008
自己評価作成日	平成24年5月21日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://kaken-shakyo.jp/kohyo
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成24年6月15日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

田園が広がり、自然豊かな環境の中に当ホームはあります。1棟が開設5年目、2棟が開設4年目になります。「笑顔の絶えない毎日を。貴方と、家族と、私達と、地域と共に。」を理念に掲げ、理念に沿ったサービス提供を目指しています。町内会長をはじめ 推進会委員の協力や、地元の保育園、小学校、中学校との交流会等を通じ、地域にも認識されてきたと感じています。まだまだ理想とするホームにはほど遠いですが、スタッフ1人ひとりが考え、模索し、すこしでもそれに近づこうと努力をしている現状です。今以上に、地域密着型サービスの意味を踏まえ 地域の中に根ざして行きたいです。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

--

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	利用者に対し、自分達はどうありたいか？どうあるべきか？、又、どう支援していきたいかを考え現在の理念をかかげる。職員会議等にて繰り返し考え、実践している。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会長をはじめ、保育園、小学校、中学校との交流、地元消防団の避難訓練参加等 事業所を活用してもらっている。これからは、地域住人との関わりを広げて行きたい。		
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	介護の相談等に気軽に応じ、状況によっては、空きのある施設の情報提供を行っている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	利用者の現状報告、家族会、行政関係等の報告。ホームが抱えている問題点や改善事項に関し、良きアドバイスを頂いている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>推進会議にも出席していただき、ホームの現状等報告している。今回の介護保険改正に伴う申請等においても、気軽に相談でき アドバイスももらっている。</p>		
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>ホーム自体の拘束廃止委員会規定を作成し、拘束における弊害等定期的に勉強会のテーマに上げている。我が親、自分自身におきかえ日々のケアを行っている。開設してから拘束を実施した例はない。</p>		
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>虐待についても定期的に勉強会のテーマに上げ、繰り返しスタッフへ周知、防止に努めている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>権利擁護に関しては全くの素人で勉強不足である。今後、スタッフと共に研修会等の参加・勉強会をしていきたい。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>入居前の相談、入居時と、時間を掛け説明をしている。法の改正時等も、家族会や、個別に説明を行い 理解、納得してもらっている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>普段から、利用者・家族が意見、不満等なんでも言える関係作りに努めている。運営推進会議、家族会、玄関にはご意見箱を設置し環境づくりに努めている。出された意見は、職員会議等にてスタッフに周知し反映させている。</p>		
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>毎日のミーティング・業務、月1の職員会、個別面談等にて意見・要望を聞いている。</p>		
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>資格取得の支援や定期的な面接等を行い、スタッフの意見や悩み等を聞いている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>グループホーム協議会や行政主催の研修に積極的に参加させている。又、注意・指摘はその都度している。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>年に数回、他のグループホームと合同の研修会を開催している。GH協議会にも加入しており同業者との交流も多い。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前の面談を、時間をかけ行っている。その上でホーム見学に来てもらい、その状況を見ながら対応している。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居前の相談、入居契約時に十分に思いを伺っている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居前の面談や見学時から、本人に何が必要か、家族が何を望んでいるかを引き出し対応している。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	スタッフと利用者、利用者と利用者ではなく、一つの家族として接することが理想であり、実現できるよう努力している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族へは入居前の面談にて、家族の支え、協力等必要性を話している。面会時には、生活状況を報告し、足りない部分へのアドバイスやサポートをいただいている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	墓参りや自宅帰省等の支援は行っているが、ADLの低下や本人の意欲の減退 理由は様々だが機会が減ってきている。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	一人ひとりが全員と向き合えるようにレクや活動等工夫はしているが、なかなかである。馴染めない方にはスタッフがより多く係っているのが現状である。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約終了後もホームとしてできる事、協力できることは率先していきたい。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々の業務の中で、何を望んでいるか？何を思っているか？考え接している。利用者とのふれあいを大切にしている。又、家族への聞き取り等 面会時に話している。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前に生活歴、性格、趣味嗜好等家族からの情報と、日々接する中で一人ひとりを把握することに努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	本人ができる事、できない事、必要としていることを把握し、可能性を考え、その人らしく過ごせるよう模索している。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人の要望、家族へ生活状況説明、要望を伺っている。職員会等にて、その人に何が必要かスタッフと検討し計画を作成している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別記録や申し送りノートにて情報の共有に努めている。ミーティング、職員会にて話し合い 介護計画見直しに活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	病院受診や行政関係の申請・手続き、日用品の買い物、自宅帰省の送迎等、家族の状況に配慮し支援を行っている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	保育園、小学校との交流会や行事の参加、地元消防団の避難訓練参加、ボランティアの慰問等、地域資源の一端を担い、利用者の方に暮らしの中で地域との良い関係作りに努力しているが、満足できるまでにはまだ		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	家族の希望によりかかりつけ医を決め、Drに継続的に医学的管理を行ってもらっている。又、かかりつけ医以外にも協力医療機関にて対応していただく体制と、訪看週1、Dr月1回来所にて健康管理に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>訪問看護事業所と契約。20年11月より週1にて訪問看護、月1回Dr訪問診療の体制である。毎回、同じ看護師が来てくださり、スタッフ・利用者共になじみの関係が形成されている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>医療相談員や病院関係者と蜜に連携を図り、本人、家族をサポートしている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>本人・家族の意向を聞き、ホームでどこまで出来るかをスタッフと検討、医療関係を含め、今後の対応方針を決めている。</p>		
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>消防署主催の緊急救命士の講習参加、職員会で急変時の対応のシュミレーション訓練、マニュアルの確認を行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>避難訓練を年2回行っている。1回は、地元消防団も参加していただき、もしもに備え、ホームの建物構造や利用者の状態等把握してもらっている。職員会にて、忘れた頃に消防設備の取り扱い等 繰り返し学んでいる。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	まず言葉使い。仕事に慣れてきたり、信頼関係が成り立ってくると言葉使いが乱れがちである。利用者と介護職としての関係を忘れないよう職員会や朝礼にて繰り返し話をしている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	具体的に例をあげ、思いを自己決定できるように支援している。利用者から何でも言ってもらえる信頼関係を築くことが出来るよう取り組んでいる。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	本人のペースにあわせ支援したいが、スタッフの都合にて希望に添えないことも多い。一人ひとりの生活リズム、ペースを大切に、希望に添えるように努めたい。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	洋服選びが可能な方には、一緒に買い物に行ってもらい選んでもらっている。化粧品屋さんがボランティアにて月一回 希望者に化粧をしてくれ喜ばれている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	普段はモヤシの根切りや、準備・下膳を可能な方には手伝ってもらっている。季節により、竹の子、ツワの皮むき、切り干し大根作り、行事にてそば打ち、たこ焼き ケーキ作り等行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養バランスのとれた献立、一人ひとりの状態にあった量・好き嫌い・食事形態等 考慮している。水分摂取量は注意を払っている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケアに関しては、係りを決め実施し、チェック表にて忘れの無いようにしている。又、ご家族の希望にて、訪問歯科を利用しており、スタッフも、Drより口腔内の状態や口腔ケアのやり方等指導を頂		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	一人ひとりの排泄パターン・量等把握に努め支援している。トイレ誘導・介助、オムツの種類、Pトイレの活用等 検討し安易なオムツ使用はしていない。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘に関し、水分や食材 注意・工夫行っている。しかし改善できない方は、主治医に相談し 内服にて管理する方もおられる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	正月元旦以外は毎日が入浴日である。利用者は一日おきが基本であるが希望にて続けて入浴される方もおられる。入浴時間は個々のペースであるが時間帯に関しては午後15時からとなっており希望には添えていない。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	消灯時間は設けておらず、本人のペースにて就眠されている。22時すぎてもテレビを見ている方も。安眠に関しては日中から生活リズムを考慮している。		
47		○服薬支援 一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬剤の説明書を個人ケースに綴っており、内服変更の際はその都度、口頭や申し送りノートにて情報を共有している。誤薬や薬の弊害 副作用等 注意している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	洗濯物たたみ、干し、行事(そば打ち、餅つき)、食事の準備等、できることにて自分の役割を感じてもらえるよう支援している。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	散歩や畑を見に行ったり、買い物やドライブ等、個人によっては墓参りや自宅帰省の送迎を行っている。しかし高齢化や状態によって機会や希望も少なくなってきた。希望で一番多いのは「病院に連れていたっくいやい」が現状である。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>数人、少しであるが自分でお金を持ち管理している。買い物と一緒にいたり、ほしいもの等買って来てほしいと頼まれお金を渡される程度である。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>家族へ電話を 希望があればその都度連絡を取り、長く面会が無いときや、家族と話をされたい様子等見られたら こちらから電話を促している。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>台所はオープンになっており、調理をする音や匂い、玄関やホールは季節ごとに飾りを替えて生活感、季節感を取り入れている。 トイレは悪臭がしないよう清潔に保たれている。</p>		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>テラスやリビング・ローカ・玄関にソファや椅子を置きゆっくり過ごせる空間になっていると思う。利用者は、気の合った同士でお話をしたり、1人でゆっくり過ごしたりされている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>入居時に家族に、使い慣れた物品について説明をしている。数人の人は椅子等持ち込んでおられる。家族によっては写真等を飾ってくださっている。もっと個性を出せたらとスタッフと検討をしている。</p>		
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>ローカ、トイレ、居室入り口等手すりを設置し、自立支援、危険防止の設計はしてあるが、一人ひとりに合わせたものではない。</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない